



雄木 但木ぶりがいにして枝の間とほし
雄木 但木ぶりがいにして枝の間とほし

(概)



雌木 但木ほそく枝葉しげくして何となくやさし
雌木 但木ほそく枝葉しげくして何となくやさし

綿に生物としての雌雄はありません。しかし、当時は、綿、それから稲などにも「雌雄」があると考えられていました。

これは、作物としての優良な性質を見わけるための指標で、枝ぶりや葉ぶりを「雌雄」に当てはめて「雌木雄木」にわけ、種の採集にあたって参考にされていました。